

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	4	事業名	職員福利厚生事業	担当部課	市長公室人事課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	8 職員の働き方改革の推進		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款一 項 一 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	労働安全衛生法、長久手市職員互助会規約	2-1-4 人事秘書管理費	
	事業開始の背景、経緯等	職員の福利厚生に資するため			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働不可		(両者と協働不可の場合はその理由) 職員の管理業務のため		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・産業医、顧問精神科医による健康相談、健康教室、ストレスチェックの実施 ・職員健康診断、人間ドック、特定保健指導の実施 ・職員互助会による給付、レクリエーション事業
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 職員
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 職員の幸せのために

コスト推移	項目	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
	事業費(A)	千円	予算	12,892	13,634	12,711	12,916	13,052
			決算	13,103	13,308	11,999	12,382	
人件費(B)	千円	決算	8,214	13,946	11,417	10,006		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	21,317	27,254	23,416	22,388		
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人			446	468	413	420	430
対象あたりコスト(C/D)	千円			48	58	57	53	

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
	産業医から指摘のあった職員の精密検査を受診した割合	%	目標		70.0	70.0	70.0	70.0
			実績	—	62.5	50.0	45.2	
(指標の設定根拠)		(数値目標の根拠)						
病気等を早期発見し、対処することで健康を維持することが職員の幸せにつながると考えたため。		以前に精密検査を受け、異常なしとなった場合でも、毎回同じ項目で引かかるので、改めて検査を受けない職員や以前から治療中の職員が一定数いるため、7割を目標とした。						
(前年までと変更した場合はその理由)		職員の幸せのためには、受診後の対応が大切と考えたため。						

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 今までは、精密検査を受診するよう案内はしていたが、結果まで追跡調査はしていなかった。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 毎月1回、産業医による職場巡視、健康教室、健康相談等を実施 毎月1回、精神科医顧問によるメンタルヘルズ講座、心の健康相談等を実施
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 以前に精密検査を受け、主治医等から経過観察等の指摘を受けた職員についての対応も必要である。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	職員健康診断事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
			実績					
(3)	特定保健指導受診率	%	見込	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
			実績	61.5				
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> ・人間ドック(293人受診) ・ストレスチェック(592人受検) ・健診(352人受診) ・緑内障検査(39人対象) ・予防接種(19人接種)							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	事務事業②	職員互助会補助事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
			実績					
(3)	会員の一人当たり事業利用数	回	見込	8.0	8.0	8.5	8.5	9.0
			実績	7.1				
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 職員 447人 × 4,800円 = 2,145,600円補助							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業③	事務事業③	職員健康診断事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 健康への不安感の減少や職員がリフレッシュできる環境の整備
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 職員が幸せにいきいきと働くことができるようにする。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・事業費が過大にならないよう努めながら、福利厚生の質や魅力を充実することで、人材の確保・働き方改革に寄与するよう努めてください。 ・福利厚生の面からも行政改革指針に係る「職員の働き方改革の推進」に寄与するよう引き続き努めてください。
内部意見への回答	